

浜松市内小学校

竹内さん

わたしは、しょうがつこのちかくにある花だんのおせわをしている。きんじょにすんでいる、おじいちゃん二人とおばあちゃんとわたしとおとうとおかあさんの六人でやっている。

わたしたちは、花でつながっている。

いつもは花がさいているなえをつえていたけれど、さきおわった花をかたづけ、みんなでそうだんして、こんかいはひまわりのたねをまいてみた。花だんぜんぶが、ひまわりになるよていだ。

たねからそだてるのは、わたしはじめてだったので、どんなふうにせいちょうするのかワクワクしていた。

つぎのひ、水やりにいくと、ジュースのペットボトルがすてられていた。たねをまいただけで、まだなにもさいていないけど、ここは、ゴミほこではない。このジュースもポイすてゴミに入んしんさせられて、かわいそうだ。ジュースも、花だんも、わたしたちも、みんなみなかわいそうだ。おばあちゃんはがっかりして、あまりはなさなくなってしまう。おかあさんは、おこっている。どうしよう、どうし

ようとおとうとはこまっている。おかあさんが、「かんばんをかいてみよう」といいたしたので、わたしがかいてみた。

たくさんのひまわりがさくといいなとおもったので、ひまわりばたけをかいてみた。

ゴミはちょっとへったけど、ゼロにはならない。

きょうはゼロだーきょうは二つあるーといながらまいにち水やりをしていたら、たねからめがでてきた。そうしたら、バッタやちょうちもきた。花とむしはつながっている。「なんの花がさくの？」ときてくる人もきた。こんどは人もつながってきた。ゴミよりも花やむし、やさしい人がふえてきた。

あきらめないことがだいじだなとおもった。

ひまわりばだけがかんせいしたら、たねをとって、まだらいねんにみんなでうえたい。つぎはもっと大きなかんばんをかくつもりだ。